

官民一体で地域の中小企業をサポート 「京滋中小企業応援ファンド」へ出資します



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、官民一体で地域の中小企業を支援する「京滋中小企業応援ファンド投資事業有限責任組合」に出資することを決定し、本日（2025年3月27日（木））、組合契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、経営状況が厳しい中でも本業に相応の収益力を有し、財務改善や事業見直しにより経営状況の改善が見込める京滋地域の中小企業の再生を支援する、官民一体型の中小企業再生ファンドです。なお、本ファンドの運営は、株式会社 リサ・パートナーズの連結子会社である株式会社 京滋リバイタルが行います。

当行は、今後も引き続き中小企業の再生支援に尽力し、地域の発展と成長に貢献してまいります。

記

1. 本ファンドの目的

物価高の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化を背景として、過剰債務等の課題を抱えるものの、地域の経済活力や雇用に対して大きな役割を果たす京滋地域の中小企業の継続的な経営支援を目的とします。

具体的には、出資や社債引受、融資等の財務面の支援とともに、ハンズオンの経営支援により、企業の財務改善や事業見直しによる再生を支援いたします。

2. ファンド概要

名 称	京滋中小企業応援ファンド投資事業有限責任組合
ファンド出資者	京都銀行、滋賀銀行、関西みらい銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、京都北都信用金庫、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫、滋賀県信用組合、京都信用保証協会、滋賀県信用保証協会、中小企業基盤整備機構、株式会社 京滋リバイタル
ファンド総額	20億円
設 立	2025年3月27日

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに SDGs の目標のアイコンを明示しております。

